教　科	科　目　名	単位数	学年	学科またはコース	履　修
地歴科	世界史Ａ	２	３	全学科	必履修

科目のねらい	世界の歴史的成り立ちを理解し、現代の国際社会の問題に興味・関心を持ち国際社会に生きる日本人としての自覚を養う。
使用教材など	『明解 世界史Ａ』（帝国書院） 『アカデミア世界史』（浜島書店）

期	月	学　習　内　容	学習のポイント
一学期	4 (5) 5 (5) 6 (8) 7 (4)	○人類の始まり ○東アジアの文明 ○南アジアの文明 ○西アジア・北アフリカ文明 ○ヨーロッパの文明 ○南北アメリカ ○ユーラシアの交流圏	・農耕牧畜が人類に与えた影響を学習します。 ・東アジアの風土と民族、漢字文化、儒教に触れ、東アジア世界の全体像を把握します。 ・仏教、ヒンドゥー教とカースト制度に触れ、インド独自の宗教文化を学習します。 ・イスラム世界の特質を学習します。 ・ギリシア・ローマ文化の伝統とキリスト教的なヨーロッパ世界の特質を学習します。 ・大航海時代前の新大陸の文明を学習します。 ・遊牧社会の世界史に果たした役割や、東アジア諸国と日本との交流について学習します。
二学期	8 9 (9) 10 (8) 11 (7) 12 (7)	○大航海時代と新国家の形成 ○ヨーロッパとアメリカの諸革命 ○自由主義･ナショナリズムの進展 ○アジア諸国の動揺 ○東アジアの大変動 ・帝国主義と世界の変容	・大航海時代から始まる世界の一体化を学びます。 ・絶対主義時代のヨーロッパ諸国が競合しながらアジアに進出することを学習します。 ・アメリカ合衆国成立やフランス革命などを経て誕生した市民社会や、ナショナリズムと自由主義による国民国家について学習します。 ・アジア諸国がヨーロッパの進出で変貌し、産業革命で帝国主義が進展することを学習します。
三学期	1 (4)	○現代社会のめばえ～二つの世界大戦 ○冷戦から地球社会へ	・帝国主義により２０世紀の２つの大戦に突入することを学習します。

評価項目・学習にあたって・評価点		
①定期テスト （知識・理解） （思考判断表現） （資料活用技能）	世界史の基礎的な事柄、歴史の流れを理解しているか。 世界史のなかの様々な出来事について、「なぜ」「どのように」など広い視野で考え、その歴史的意義について説明できるか。年5回の定期テストで評価します。	７０点
②ノート提出 （思考判断表現） （関心意欲態度）	世界史の授業に関心を持ち、すすんで学ぼうとする姿勢が見られるか。通常の板書を書き写すだけではなく、授業中の疑問点やなるほどと思ったことなどをまとめるとノートA評価になります。	２０点
③授業参加状況 出席の様子 （関心意欲態度）	世界史の授業に関心を持ち、すすんで学ぼうとする姿勢が見られるか。授業の発言、参加状況、課題取り組み状況で評価します。	１０点